

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	老朽化等により対策が必要な港湾施設の整備（防災・安全）（重点）												
計画の期間	令和03年度～令和03年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福岡県												
計画の目標	福岡県の個別施設計画（インフラ長寿命化計画）に基づき、性能が低下していると評価された港湾施設について、効果的な老朽化対策を推進し、利便性及び安全性の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	50	A	50	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R3末
1	老朽化に伴う港湾施設の利用制限及び利用支障がある施設の解消数の増加（整備率0%（R3） 100%（R3）） 令和3年度から令和3年度までの1年間で整備等が完了した整備率を算定する。 （整備率）＝（整備完了施設数）／（整備が必要な施設数）（％）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	離島	福岡県	直接	福岡県	地方	改良	物揚場改良	物揚場(-4m)N=1式	大島港・大島地区						50		策定済
											小計						50		
											合計						50		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

社会資本総合整備計画の事後評価として、福岡県で実施

事後評価の実施時期

令和6年3月

公表の方法

福岡県ホームページに公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

老朽化により機能上支障をきたしている施設の改良等を行うことで、安全性の向上が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%